

Linux Security 64 から Elements EPP for Linux (Linux Protection)への マイグレーション

Elements EPP for Linux (Linux Protection)にマイグレーションすると何が変わるのか？

【管理】

- クライアントデバイスはElements Security Centerで一括管理されます。管理者はブラウザでSecurity Centerへアクセスすることで、デバイス情報の確認や設定変更をすることができます。
- また、インストーラのダウンロードもSecurity Centerからダウンロードすることになり、Policy Managerでインストーラを作成する手間が不要となります。

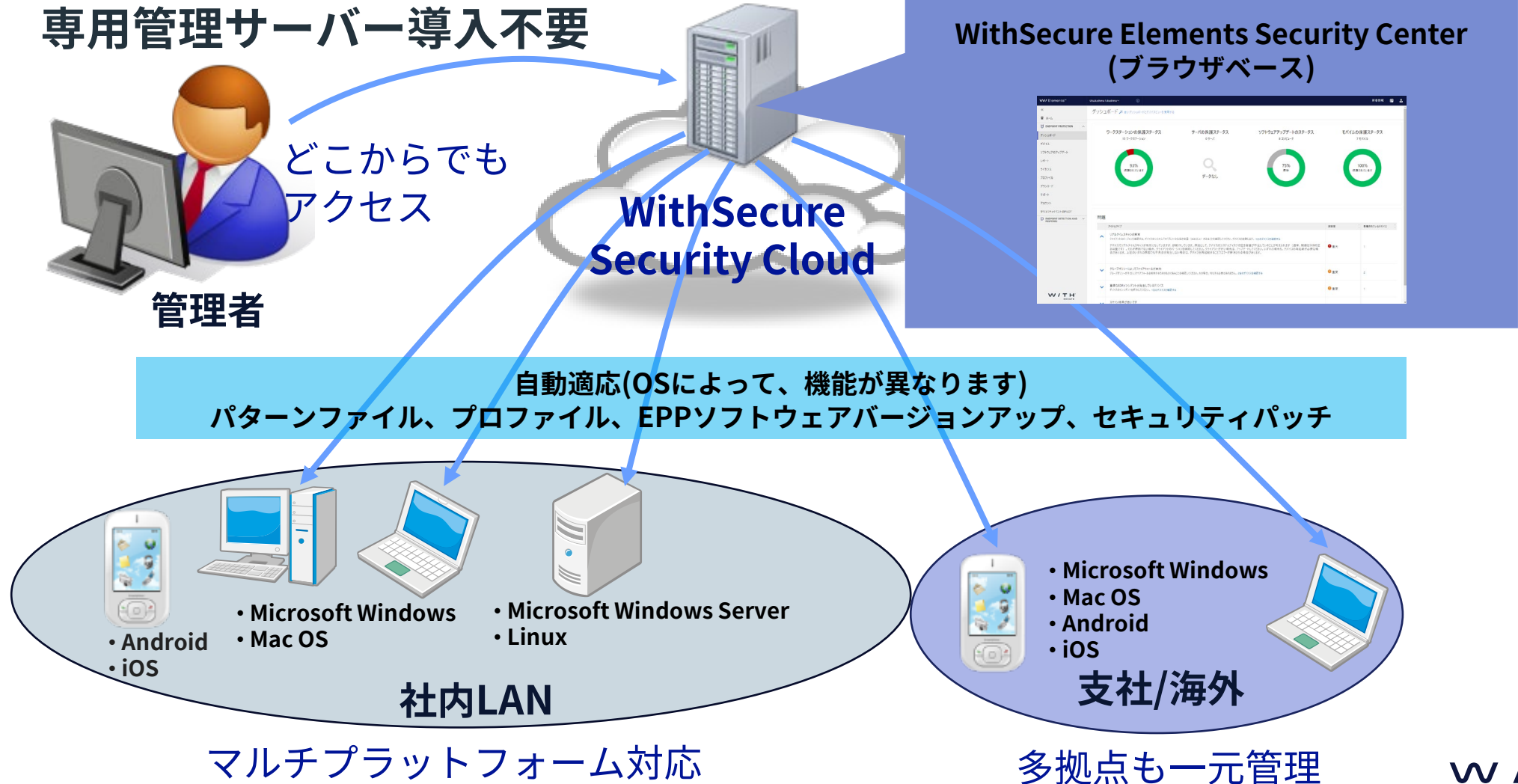
【機能/運用】

- 機能に大きな差はございませんが、製品バージョンを固定する機能がElements EPP for Linuxでは利用できません。製品コンポーネントは自動更新により常に最新に更新されます。
- また、Security Centerへの接続が必須となるため、スタンドアロンでの運用や完全隔離環境で利用することはできません。

Elementsの利点

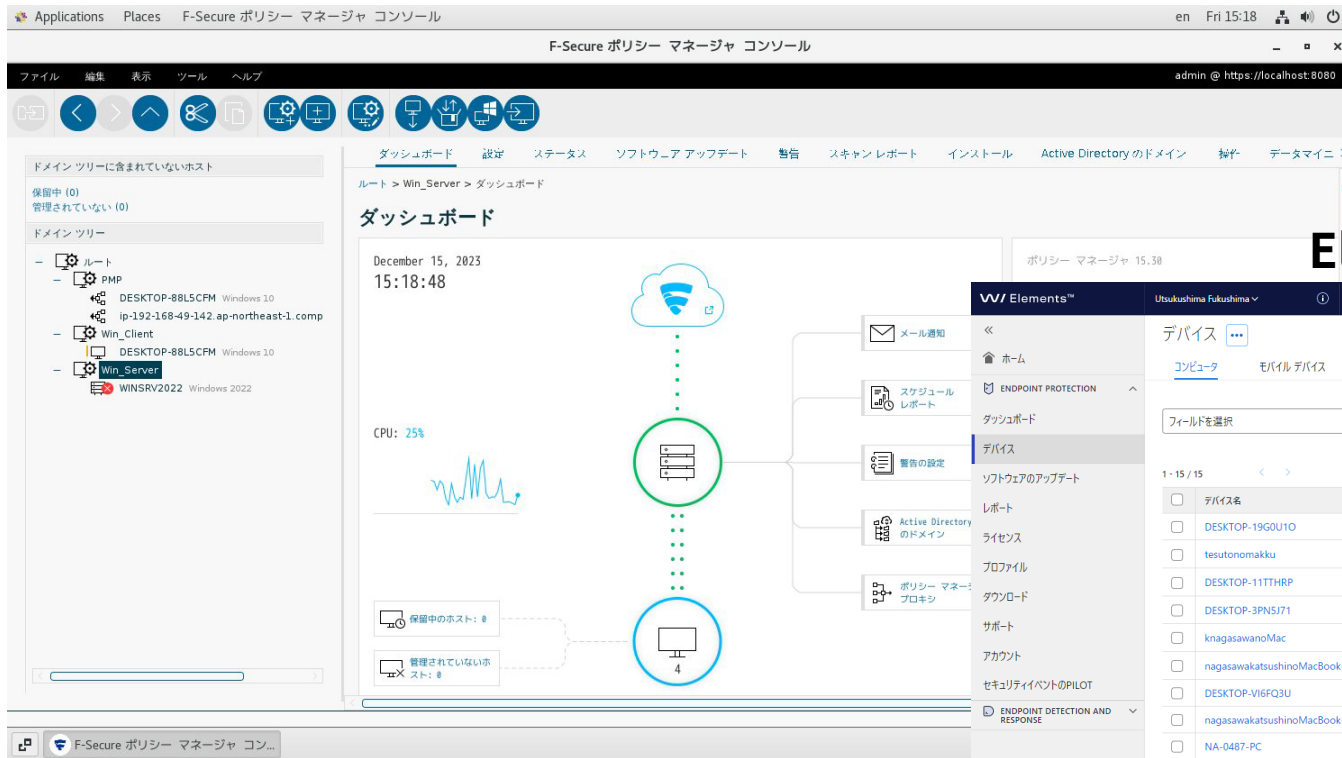
- ◆Elements Security Centerで管理を行うため、ローカルネットワークに管理サーバが不要になります。
- ◆EPPのインストーラはElements Security Centerからダウンロードできます。
※Business Suite製品についてはWithSecureのウェブサイトからjarファイルをダウンロード後 Policy Managerでインストーラを作成する必要がありました。
- ◆Elements Security Centerでライセンスの有効期限や使用状況を確認することができます。
- ◆EDR機能を追加利用したい場合、ライセンス購入後、自動的にEDR機能が追加されます。
※クライアントの再インストールは不要です。

WithSecure Elements 全体イメージ



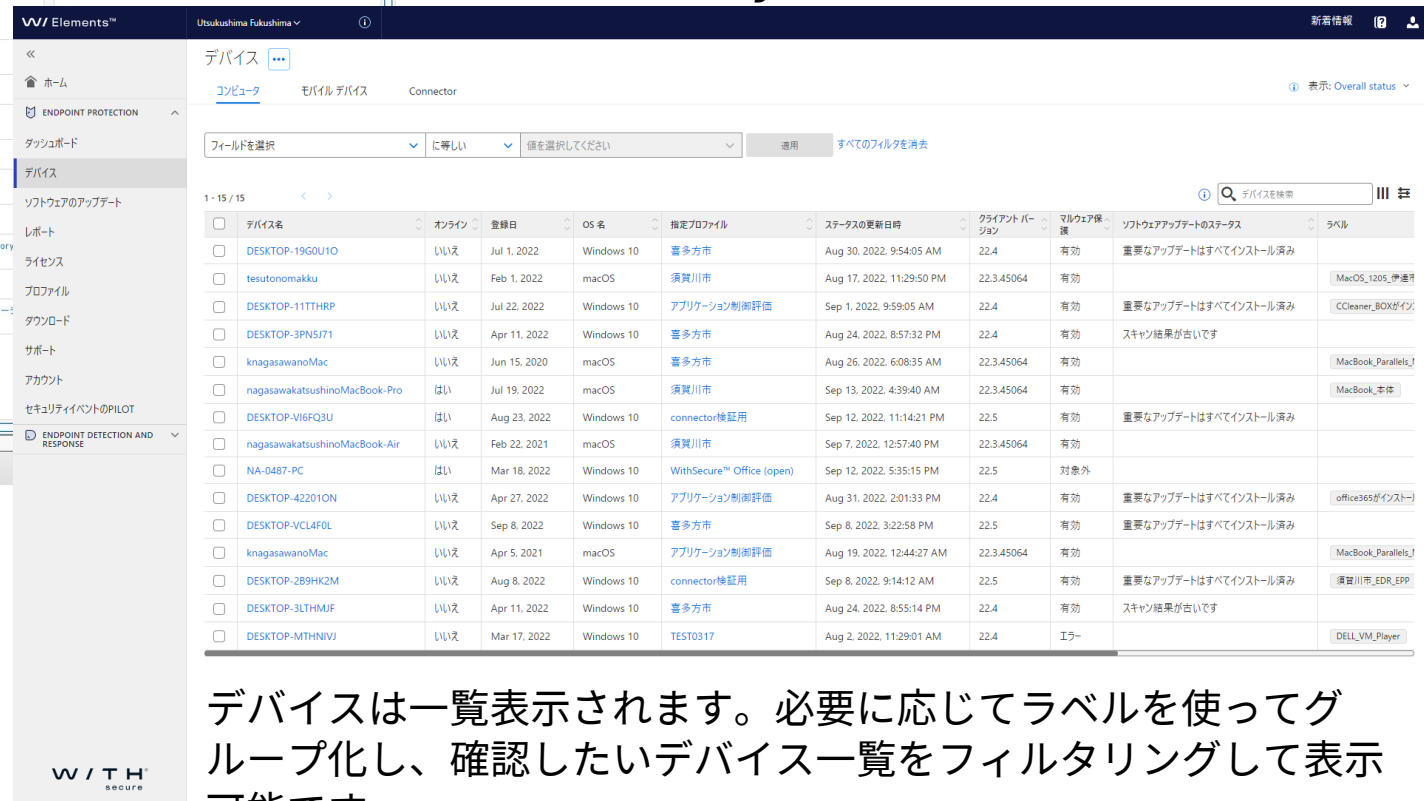
管理画面（デバイス一覧）の比較

Policy Manager



デバイスはツリー構造で表示されます。ドメインツリー毎にデバイスを管理することが可能です。

Elements Security



デバイスは一覧表示されます。必要に応じてラベルを使ってグループ化し、確認したいデバイス一覧をフィルタリングして表示可能です。

管理画面（インストーラのダウンロード）

W/ Elements™ Data Fellows Security JP Naithi

管理 / ダウンロード

ユーザー名を使用してログインするオプションは削除されます。メールアドレスのみが有効なログインIDとして残ります。メールアドレスが最新であることを確認してください。 [ここから](#)

ダウンロード

[パブリックダウンロードページ](#)

WithSecure™ Elements Agent for Computers

こちらからインストーラをダウンロードして、対象デバイスに転送することで、WithSecure™ Elements Agentをインストールできます。

[詳細なインストール手順](#)

[Windows変更ログ](#)
[Mac変更ログ](#)

サブスクリプションキーによって、インストールされるソフトウェアが決まります。オペレーティングシステムに応じて、以下のサブスクリプションのいずれかを使用できます：

- WithSecure Elements EPP for Computers (Windows and Mac)
- WithSecure Elements EDR and EPP for Computers (WindowsおよびMac)
- WithSecure Elements EDR for Computers (Windows and Mac)
- WithSecure Elements EPP for Computers Premium (Windowsのみ)
- WithSecure Elements EDR and EPP for Computers Premium (Windowsのみ)
- WithSecure Elements Vulnerability Management (Windowsのみ)

Windows	Mac
ダウンロード .exe	ダウンロード .mpkg
ダウンロード .msi	

WithSecure™ Elements Agent for Servers

こちらからインストーラをダウンロードして、対象デバイスに転送することで、WithSecure™ Elements Agentをインストールできます。

[詳細なインストール手順](#)

[Windows変更ログ](#)
[Linux変更ログ](#)

サブスクリプションキーによって、インストールされるソフトウェアが決まります。オペレーティングシステムに応じて、以下のサブスクリプションのいずれかを使用できます：

- WithSecure Elements EPP for Servers (Windows および Linux)
- WithSecure Elements EDR for Servers (Windowsのみ)
- WithSecure Elements EPP for Servers Premium (Windowsのみ)
- WithSecure Elements EDR and EPP for Servers Premium (Windows and Linux)
- WithSecure Elements Vulnerability Management (Windowsのみ)

Windows	Linux
ダウンロード .exe	ダウンロード .deb
ダウンロード .msi	ダウンロード .rpm
	ダウンロード 汎用

管理画面（ライセンス情報）

W/ Elements™ Data Fellows Security
すべて

管理 / サブスクリプション

ユーザー名を使用してログインするオプションは削除されます。メールアドレスのみが有効なログインIDとして残ります。メールアドレスが最新であることを確認してください。 [こちら](#)

サブスクリプション

サブスクリプション Endpoint Protectionサブスクリプション

有効期限 次に等しい 有効 | ×

1 - 50 of 392 1 of 8

製品	ライセンス キーコード	組織	パートナー	タイプ	使用済み	最大	有効期限
WithSecure Elements EDR for Servers	[Redacted]	JP Naithi	[Redacted]	商業	Endpoints count: 0	エンドポイントの制限: 10	有効期限 2025/02/01
WithSecure Exposure Management for Users	[Redacted]	FI TSM Systems Limited	[Redacted]	評価		ユーザー制限: 50	有効期限 2025/03/31
WithSecure Exposure Management for Cloud	[Redacted]	FI TSM Systems Limited	[Redacted]	評価	AWS使用状況: 0 Azure使用状況: 0	IaaSの合計制限: 50000	有効期限 2025/03/31
WithSecure Elements Identity Security for Entra	[Redacted]	FI TSM Systems Limited	[Redacted]	評価		量: 50	有効期限 2025/03/31
WithSecure Elements EPP for Computers Premi	[Redacted]	test testi	[Redacted]	商業	Endpoints count: 0	エンドポイントの制限: 100	2025/04/12
WithSecure Elements EDR for Computers	[Redacted]	FI Car Finance	[Redacted]	商業	Endpoints count: 0	エンドポイントの制限: 10	2025/04/29
WithSecure Elements EDR and EPP for Comput	[Redacted]	Bedford	[Redacted]	商業	Endpoints count: 0	エンドポイントの制限: 500	2025/05/10
WithSecure Exposure Management for Users	[Redacted]	FI Cloud Consulting	[Redacted]	非売品			2025/08/02
WithSecure Elements EPP for Computers	[Redacted]	Peter company	[Redacted]	商業	Endpoints count: 0	エンドポイントの制限: 5	2025/10/05
WithSecure Elements EPP for Computers	[Redacted]	JP test	[Redacted]	商業	Endpoints count: 0	エンドポイントの制限: 3	2025/11/11
WithSecure Elements EPP for Computers Premi	[Redacted]	test adrianna	[Redacted]	教育	Endpoints count: 0	エンドポイントの制限: 20	2025/12/09

管理画面（ライセンスの変更）

デバイス

コンピュータ モバイルデバイス コネクタ 管理されていないデバイス デバイスの検出 脆弱性アセット

フィールドを選択 に等しい 値を選択してください 適用 キャンセル すべてのフィルタを消去

表示 全体のステータス

1 - 5 / 5

<input type="checkbox"/>	タイプ	名前	オンライン	登録日	OS名前	指定プロファイル	ステータスの更新日時	クライアントバージョン	マルウェア保護
<input checked="" type="checkbox"/>	サーバー	WINSRV2022	いいえ	Jan 23, 2025	Windows Server 2022	WithSecure™ Server	Jan 23, 2025, 8:43:49 PM	24.6	有効
<input type="checkbox"/>	サーバー	ip-192-168-49-133.ap-northeast-1.compute.internal	いいえ	Jan 29, 2025	AlmaLinux 9.5 (Teal Serval)	Lin_naithi_01	Jan 29, 2025, 5:40:42 PM	12.0.497	有効
<input type="checkbox"/>	デスクトップ	DESKTOP-88L5CFM	いいえ	Jan 23, 2025	Windows 10	Data Fellows Security - Default Profile	Jan 23, 2025, 4:27:59 PM	24.6	有効
<input type="checkbox"/>	Mac	Hiroshis-MacBook-Pro	はい	Jun 19, 2024	macOS	Mac-naithi-01	Jan 31, 2025, 2:39:41 PM	25.1.54172	有効
<input type="checkbox"/>	デスクトップ	DESKTOP-6FJ093P	はい	Aug 25, 2023	Windows 11	Win_naithi_home	Jan 31, 2025, 3:27:54 PM	24.6	有効

アクション

1台のデバイスを選択しました

ステータス アップデートを送る	延期された操作をキャンセルする	ソフトウェア アップデートをインストール	スキャン	プロファイルを指定する	ラベルを管理する	重要性の更新
コメントを更新	ライセンスを変更する	デバイスを削除する	ネットワークの隔離	再起動	診断操作	デバイスにメッセージを送信する
セキュリティ機能をオフにする	セキュリティ機能を復元する	アンインストール				

WITH secure

WithSecure Elementsのインターネット接続要件

- クライアントからのインターネット接続が必須となります。
 - ※ HTTPプロキシ経由での接続は可能です。
 - ※ 完全な隔離環境(非インターネット環境)では利用することができません。
- 下記のドメイン/ホストに対するアウトバウンド通信を許可することを推奨します。

*.fsapi.com (TCP/80,443)

*.withsecure.com (TCP/80,443)

ane1-fsdiag-upload.s3.ap-northeast-1.amazonaws.com (TCP/80,443)

※ インバウンド通信については許可いただく必要はありません。

※ EDRを使用する場合は、追加の接続許可が必要となります。

- 接続に必要なドメイン及びポート番号の詳細は下記URLを参照ください。

<https://community.withsecure.com/ja/kb/articles/31217-withsecure-elements-のネットワークアドレス-クラウド管理製品>

Elements EPP for LinuxとLinux Security64の機能比較

機能	機能概要	Elements for Linux(Linux Protection)	Linux Security 64
マルウェア・スパイウェア防御	パターンファイルによる既知のマルウェア、スパイウェア防御	●	●
セキュリティクラウド	WithSecure Security Cloud利用による未知の脅威の検知	●	●
マニュアルスキャン	コマンドラインによるスキャン実行	●	●
スケジュールスキャン	スケジュールによるスキャン実行	●	●
リアルタイムスキャン	リアルタイムでのスキャン実行	●	●
完全性検査	登録したファイルに対する改ざんを検出	●	●
パターンファイルの自動更新	自動的にパターンファイルを更新する	●	●
製品自体の自動更新	製品コンポーネント (LinuxSecurity64、FSBG) バージョンの自動更新	●	●
製品バージョンの固定	製品コンポーネントバージョンを特定のバージョンに固定		●
一般リリース前の製品バージョンの利用	一般提供開始の約1週間前に最新バージョンを利用	●	
非インターネット環境	非インターネット環境での運用		●
EDR連携	WithSecure EDRとの連携	● ※要EDRサブスクリプション	
集中管理	集中管理の方法	WithSecure Security Center	Policy Manager Server
集中管理端末	集中管理に必要な端末	標準ブラウザ (Chrome Firefox Edge Safari)	Policy Manager Console
スタンドアロン運用	集中管理せずにスタンドアロンでの運用		●
製品サポート期限		-	2027年12月末まで

LinuxSecurity64からElements EPP for Linux へのマイグレーション方法について

- Policy Manager管理環境/スタンドアロン環境に関係なく、次のコマンドを実行することでLinux Security64からElements EPP for Linux (Linux Protection) へマイグレーションすることができます。

```
/opt/f-secure/linuxsecurity/bin/elements-migrator migrate [SUBSCRIPTION-KEY]
```

- 上記コマンドに「--profile-id」 オプションを付けて実行することで、予め作成したプロファイルを割り当てることができます。

```
/opt/f-secure/linuxsecurity/bin/elements-migrator migrate --profile-id [PROFILE-ID] [SUBSCRIPTION-KEY]
```

※ プロファイルIDを誤って指定すると、デフォルトプロファイルが割り当てられます。

※ PolicyManagerからエクスポートしたポリシーをElementsのプロファイルへインポートすることはできません。

[Linux Security 64 から WithSecure Elements への移行]

https://www.withsecure.com/userguides/product.html#business/linux-security-64/latest/ja/migrating_ls64_to_withsecure_elements-latest-ja

The image shows a web interface on the left and a terminal window on the right. The web interface displays a profile named 'Linux-test-1' with a profile ID of '51508737'. The terminal window shows the execution of the migration command: `/opt/f-secure/linuxsecurity/bin/elements-migrator migrate --profile-id 51508737 [SUBSCRIPTION-KEY]`, resulting in the message: `installation has been migrated to WithSecure Elements`.

ライセンス購入時の注意点と特別対応

- LS64からElements EPP for Linux へのマイグレーション時には、更新ではなく、Elements EPP for Linux 新規でのご注文をお願いします
- マイグレーション時の特別対応として、一定期間の併用を認める予定の為、ぜひLS64更新のタイミングやお早めにご検討をお願いします
※1年間など、十分な期間設定になるよう本社調整中になります。 *2025年2月初旬時点
- 事前検証を行っていただく場合は、弊社代表<japan@withsecure.com>宛に、現在のご契約番号（F-〇〇〇〇<9桁英数字>）をお知らせの上、評価キー発行依頼をご連絡下さい
- 隔離環境やバージョン固定など特殊なご利用をされている場合や、マイグレーションに際しての技術的なご懸念がある場合は、担当営業または上記代表宛にてお気軽にご相談下さい

FAQ

Q1 すぐには入替作業ができません。移行期間など猶予はありますか？

A1 一定期間の併用を認める方向で本社調整中となります。

ご希望のお客様は担当営業にて調整させて頂きますので、お気軽にご相談下さい。

Q2 契約期間中でクラウド版への変更は可能か？

A2 個別対応になりますが、変更可能です。

Q3 事前検証は可能か？また、期間は最大何か月になりますか？

A3 無償で検証/評価キーを提供いたします。

最大3か月になりますが、状況に応じてご相談下さい。

Q4 クローズド環境での利用やスタンドアロン運用はできませんか？

A4 完全な隔離環境ではご利用いただけません。準クローズド（80,443ポートのOutbound許可）での運用検討をお願いいたします。スタンドアロン運用はできません。

W / T HTM
secure